

興る！太子高校！！

学びを「力」にするために その5

本年度は、「興る！太子高校！！」をキーワードに、内なる力に気づき主体的に伸ばそうとする生徒の育成を目指します。校長通信では、そうした太子高校の「今」をお伝えできればと考えています。

一学期末考査が7月2日(月)から5日間の日程で始まりました。今年度は、授業評価に力を入れています。その取組の一つとして、考査問題一つ一つに【知識】【理解】などと、その問題が何を評価するものかをはっきりと示すとともに、点数もその項目ごとに集計するという試みを始めました。すでに中学校では普通に行われていることですが、高校ではまだそこまでの実践は見られないようです。

この取組の良いところは、教師にも生徒にも「何が理解できているのか」「どこが分からないのか」などがはっきりと点数で現れてわかりやすいところです。教師には、授業内容の定着度ををはかる目安の一つになります。生徒には自分がどの部分で不十分だったのかがはっきりと自覚できます。クラス全体の傾向も分かりますし、生徒個々の理解度も分かります。まさに授業評価です。

もちろん、従来の試験問題の形でそのようなことは分かるのですが、教師が作問の段階で、「この問題は【理解】を問うものだ」「これは【知識】の定着をはかるものだ」といった意識を持つと、問題の構成が整理されていきます。また、解答する生徒も「この問題が解ければ【知識】が身に付いているということだな」と考えながら問いに向き合うことができるようになります。授業のルーブリックを作成する前段階として、試みようということになりました。始まったばかりの取組ですが、どんな結果が見えてくるのか楽しみです。

ONE SHOT



一学期期末考査の真っ最中です。写真は、3年次生の自習風景です。総合学科は授業選択が多い関係で、試験が連続した時間に行われなことがあるようです。3年次になると、丸一日試験がない場合もあります。そういうときは、指定された部屋で自習します。

お互いに教え合ったり、黙々と問題に向かっていたりとさまざまですが、さすがに誰も遊んでいません。

進路決定を控えた3年次の自習には、一人一人の決意と熱意が感じられました。

学校の力・イ・ダ・ン

中学校の進路説明会に招かれて、太子高校のアピールをしてきました。だいたい15分から20分間で説明します。これが、なかなか難しいのです。四苦八苦して考えた説明内容でしたが、一番アピール度が高かったのは、卒業生が作成した授業紹介の動画でした。中学生が食い入るように見てくれました。そして「楽しそうな学校ですね〜」と。

情報メディア選択生の力量の高さを実感しました。学びを实践で生かす！

太子高校生、さすがです！！